

## 市長記者会見記録

日時：2026年5月8日（金）14時00分～14時10分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

### <内容>

#### 【市政一般】

#### 《令和8年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について》

【司会】 ただいまより、定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。それでは、早速質疑に入ります。

まずは、幹事社様からよろしくお願ひいたします。

【神奈川（幹事社）】 幹事社、神奈川新聞です。昨日、待機児童が6年連続ゼロということ公表されましたけれども、改めて市長としては、この数字はどう受け止められているのでしょうか。

【市長】 毎年のことですけれども、職員一丸となって、施設整備のことはもちろんのことですけれども、丁寧なフォローをしてもらったおかげで、待機児童ゼロが6年連続でできているということ、本当によかったなと思っていますし、引き続き希望のところにいれるような、そんな努力をこれからもやっていかなくちゃいけないなと思っています。

【神奈川】 川崎市も少子化という部分で、小さな子供、本当にどんどん、どんどん少なくなっているなというところで、量の時代から質の時代への転換期になっているのかなとも思うんですけど、その辺り、今ちょっとおっしゃられましたけれども、どう受け止めていますか。

【市長】 出生数が10年前、1万5,000人あったところが、去年は1万400人切っているという感じですから、10年間で3分の1減っているというのはすごい減り方だなと思います。

一方で、報道でもありましたけれども、共働き率はどんどん、どんどん増えていっているということなので、申請率は非常に高く、最高を記録しているということですので、そういった意味では、これからはがんがん整備していくという時代ではもうなくなっていると。一定のフェーズは超えたと思っていますが、引き続き、そういう意味では、先ほど申し上げたような、希望する園へとか、そういった質の部分をどうやって担保していくかということも非常に大切なことだと思うので、民間の方も含めて、

しっかり質は高められるように努力をしていきたいと思っています。

#### 《市立小学校教諭のわいせつ行為に関する処分を受けた対応等について》

【神奈川】 話は変わりますけれども、先日、教え子へのわいせつ行為をした教師を懲戒免職処分にするということも発表されました。そこで併せて、教育委員会に報告を怠った校長にも処分を下して、一步間違えれば隠蔽とも取られかねない事態だったと思います、個人的には。もはや昨今の時代背景を受けると、起きる前提で、学校のスキームというか、例えば第三者通報窓口などを設置して、誰もがそこに通報できるようなとか、そういうのを考えなきゃいけない時代になってしまったのかなと思うんですけども、市長、改めて今回の事案というのは、まずどう受け止めていて、また、報告が遅れたことに対してはどう感じられていますか。

【市長】 まず、私も教育委員会には確認をしたんですけども、以前起きた横浜等での盗撮事案を受けての対応という形になっているんですけども、去年の11月頃には、全ての学校で携帯端末を教室に持ち込むのを禁止しているということで、今回の事案が発生する後という形になってしまっていますが、そういった形で、いろんな未然に防ぐような対策だとか、学校の施設面のところでも校長を中心に改善を図ったりという対応をしているようなんですが、これからの対応はどうあるべきなのかというのは、教育委員会としても、有識者の皆さんからも意見をいただくという形で検証し、さらに、どうやっていけば起こらないかということに全力を尽くしていくこととありますので、それをしっかり私としても確認していきたいと思っています。

【神奈川】 市長自身が今回のこのケースを受けて、改めて指示したようなことは具体的には何かありますか。

【市長】 まず、要は、今までどういうことをやってきていて、その確認と、今後についてどう対策を取るのかということの具体化を進めてくださいということをお願いしてあります。

【神奈川】 めどみたいなものというのは何か……。

【市長】 なるべく早くだとは思っていますが、有識者の方からの意見も聞いてということになると、一定程度時間がかかるとは思っていますが、こういう学校の安全・安心に係るところは教育の一番のベースになる場所ですので、そういった不安、子供たちも保護者の方々にとっても安全な場所であることをしっかりと担保できるようにするためにもしっかりと取組をして、それを皆さんに発表して、こういうことをやりますということをしていくことが大事なのではないかなと思っています。

【神奈川】 幹事社から以上です。

【司会】 それでは、幹事社様のほかに質問される場合には挙手をお願いいたします。  
読売新聞さん。

#### 《磐越自動車道における男子高校生の死亡事故について》

【読売】 読売新聞です。連休中に福島県の高速度道路であった事故についてお尋ねをします。そこでは、部活動の遠征中だった男子高校生が1人亡くなっていると思うんですけれども、川崎市でも部活動のガイドライン、今年の3月に新しいものを設定して、ただその中で大会等の引率については、教員以外が担えるように配慮しつつ、各部の実情に応じて学校が決めるとしかないんですけれども、現状で十分とお考えか、もしくは、現状で十分ではないかどうかも含めて、学校にヒアリングをするですとか、川崎市内の生徒さんが部活に参加する際の安全を守るための対策についてお考えになられていることがあれば教えてください。

【市長】 ガイドラインに示してあるのが、今までの引率というものを、集合場所を決めてずっと引率していくというのが、児童にとっても教員にとっても非常に負荷がかかっているということで改めたものだとして理解しています。私も今回のことを受けて、教育委員会としてどういうふうに捉えているのかというのは確認していませんので、改めて私のほうでも確認をしてみたいと思っています。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。  
東京新聞さん。

#### 《物価高騰に伴う影響等について》

【東京】 東京新聞です。昨日の総務委員会で、北部市場の機能更新について契約が二度目の延長になったという報告がありましたけれども、この件に関しての市長の受け止めを教えてくださいませんか。

【市長】 やはり昨今の異常とも言えるべき物価高騰がいろいろなものを難しくしているということがございます。そういった意味で、非常に長期にわたる事業になりますので、しっかりとこの事業者さんとコミュニケーションを取っていかねばならないなと思っています。なるべく事業がうまくいくように詰めていければとは思っています。

【東京】 昨日の委員会でも市議の方々から、等々力の再整備との比較みたいなことも話には出てきたんですけれども、やはり今等々力もあって北部市場もあって、今後南部市場もあってという中で、ミューザの改修なんかも控えていると思うんですけれども、どんどん物価高騰がある中では、少しまた先送りというか、再検討が必要かなと考えられている部分はありますか。

【市長】 現時点でこれの計画に今変更するというものはございません。ただ、やはりいろんな経営環境が変わっているということは事実です。金利一つ取ってもそうですし、それから、物価高騰ということで、プラスの影響としては税収に跳ね返ってくるということもございます。そういったものをうまく調整していくということが、これまでの30年間とは違うんだという、そういうフェーズなんだとは思いますが、ですから、今、市場の話の御質問でしたけれども、すべからくいろんなことに影響が出てきているので、そこをしっかりとバランスよく考えていかなくちやいけないと思っています。

【東京】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。質問よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございます。

【市長】 ありがとうございました。

(以上)

---

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当